

ANAウイングス客室乗務員の採用形態の変更について

～2016年度入社以降の客室乗務員を長期社員採用に変更～
～客室乗務員のさらなる人的価値向上でより高品質なサービス提供を目指します～

ANAグループの航空会社として、小型機による国内線の運航を担うANAウイングス(株)(本社:東京都大田区代表取締役社長 泉 弘毅)は、2016年度入社以降の客室乗務員を契約社員採用から長期社員採用に変更いたします。

ANAウイングスの客室乗務員は、所定の訓練を修了した上で、3年間の雇用契約社員として採用し、3年経過後に本人の希望・適性・勤務実績等を踏まえて長期雇用社員としてきましたが、雇用を取り巻く社会環境の変化等を踏まえ、16年度入社以降の採用形態の見直しをおこなうこととしました。

ANAは、日本唯一の SKYTRAX 最高評価「5スターエアライン」として、最高のおもてなしと安心を提供し、お客様満足と価値創造で、世界をリードし続けるフルサービスキャリアを目指しております。

ANAグループの国内線小型機運航の中軸を担う ANA ウイングスは、今後も中部・伊丹・福岡の各拠点に客室乗務員を採用・配置することで、地域を結ぶネットワークを活かした地方創生に貢献し、日本各地でお客様に愛されるエアラインを目指してまいります。また今般の採用雇用形態の変更により、サービスの最前線でANAブランドを牽引する客室乗務員の採用競争力を向上し、訪日旅客の増加をふまえた多言語対応など、より一層の高品質なサービスに努めてまいります。



以上

《ANAウイングスの企業概要》

2010年10月設立。従業員1,229人(2015年4月1日現在)。ANAブランドの小型機路線の運航会社として、ANAグループにおける国内航空ネットワークの約3割を担い、ボーイングB737型機シリーズ、ボンバルディアDHC8-Q400型機計42機を使用し、日本国内線61路線、1日あたり282便(2015年4月1日現在)を運航しています。